

マタイ 36

あなたがたが あげなさい

マタイ福音書14章14～23節 5千人の供食

Shikaoichurch.com

44

アウトライン

0. イントロダクション

I. 五千人の供食 14:13～22

II. まとめと適用

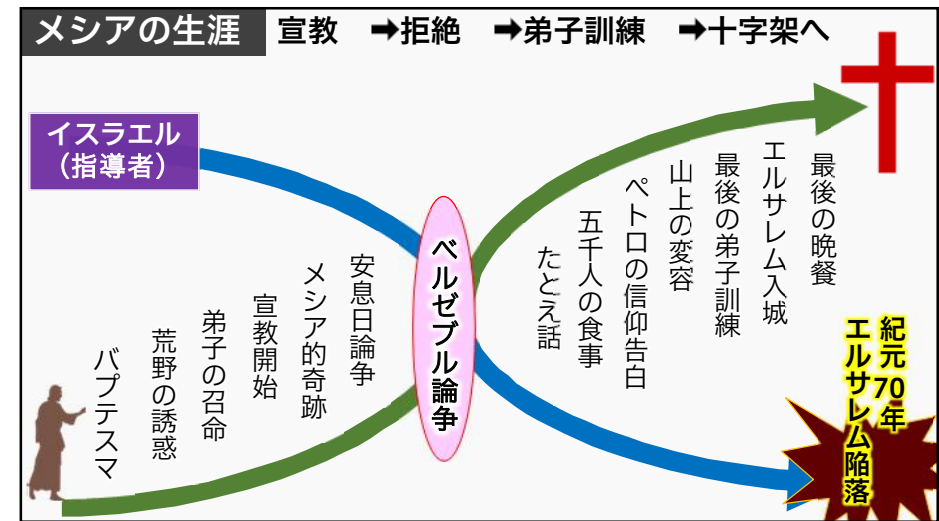
あなたがたが、あげなさい

聖書引用 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会 許諾番号4-1062-2

45



46



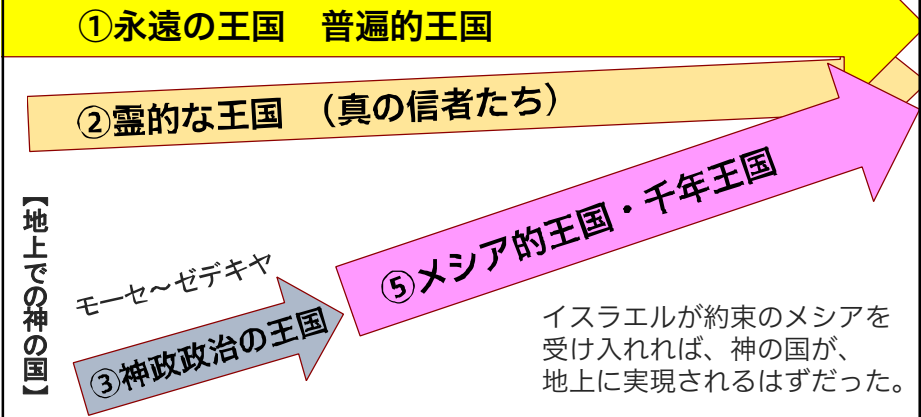
47

メシアの活動は、弟子訓練に移行!!

- イスラエルに公式に拒絶された後、
メシアの活動の中心は、大衆伝道から**弟子訓練**へ
→対象は、イエスをメシアと信じる者たち
- 教えの中心は、メシアの解説が必要な**たとえ話**
→たとえ話のテーマは、「**奥義としての神の国**」

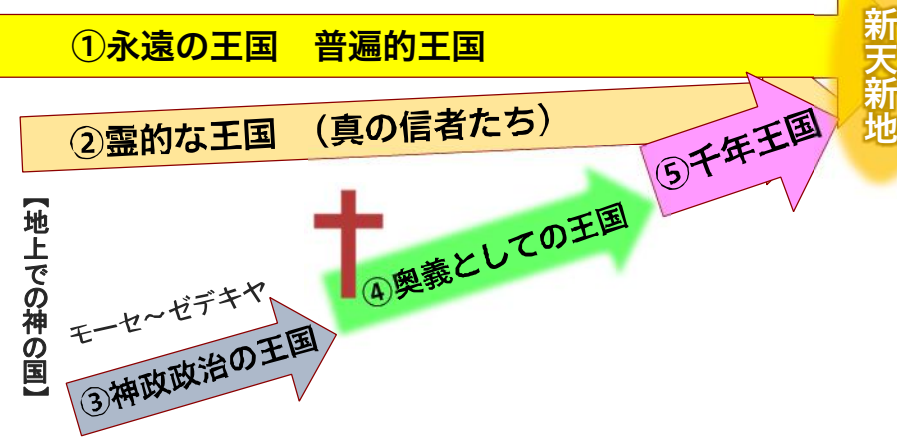
48

神の国とは？ メシア拒絶以前



49

神の国とは？ メシア拒絶以後



50

バプテスマのヨハネの死 いよいよ迫るメシアの受難

- 凄惨な死を遂げたバプテスマのヨハネの死。
- メシアの先駆者でさえ、これほどの苦難を受けたなら、メシアを待ち構えている苦難はどれほどのものなのか？
- いよいよ迫る受難に、一人向かっていかれるイエス。

メシアの受難のその先には、教会の時代が待っている

51



Ⅰ. 五千人の供食

マタイ福音書14:13～22

52

序章 寂しいところへ マタイ14:13

それ*を聞くと、イエスは舟でそこを去り、自分だけで寂しいところ*に行かれた。群衆はそれを聞き、町々から歩いてイエスの後を追った。

＊洗礼者ヨハネの死

＊説教の山?! カペナウムから2,5km

■おそらくは、受難を見据え、祈るために…

■ヨハネの死を聞いた群衆は、主イエスにすがって陸路を必死に追いかけてきた。



53

本編 あわれんで マタイ14:14

イエスは舟から上がり、大勢の群衆をご覧になった。そして彼らを深くあわれんで*、彼らの中の病人たちを癒やされた。

＊“はらわたがねじれるような”

「彼らが羊飼いのいない羊の群れのようにあったので、イエスは彼らを深くあわれみ、多くのことを教え始められた。マル6:34」

■群衆を憐れみ、癒やし、教えたイエス
➡変わらずメシアの使命を果たされた



痛みをもって
遣わされたメシア

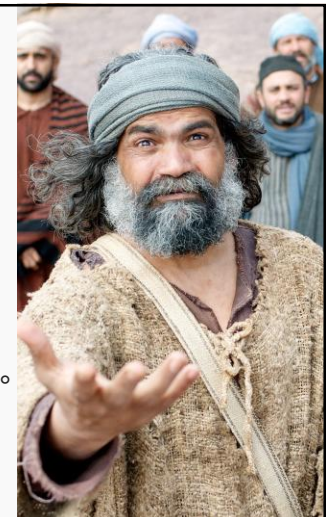
54

本編 弟子たちの申し出 マタイ14:15

夕方になったので、弟子たちはイエスのところに来て言った。「ここは人里離れたところですし、時刻ももう遅くなっています。村に行って自分たちで食べ物を買うことができるように、群衆を解散させてください。」

■いつもの集会とは違う、突発的な出来事。
必死に追いつがってきた人々に供えはない。

■弟子たちが本当に心配していたことは？
➡責任が持てない。結局、自分のこと。



55

本編 あなたがたが マタイ14:16

しかし、イエスは言われた。「彼らが行く必要はありません。あなたがたが*あの人たちに食べる物をあげなさい。」

*弟子たちの訓練は、人々を導くため。

霊的な食物を与えるのが牧会者の責務。

■主イエスが見据えているのは、教会時代。

➡遣わされ、民を養う使命は弟子たちに!!



56

本編 五つのパンと二匹の魚 マタ14:17

弟子たちは言った。「ここには五つのパンと二匹の魚*しかありません。」

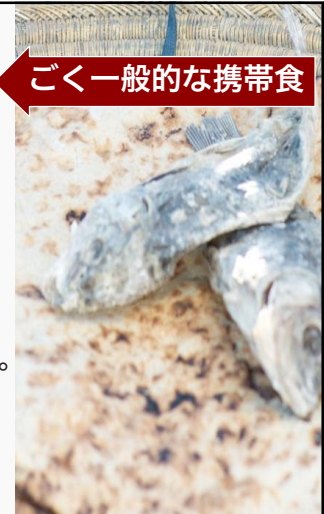
*ガリラヤ湖特産の干し魚or塩漬けの魚

■ヨハネ福音書6章では、ピリポがまず返答。

「一人ひとりが少しずつ取るにしても、二百デナリのパンでは足りません。」

■ペテロの兄弟アンデレが少年を連れてきた。

「ここに、大麦のパン五つと、魚二匹を持っている少年がいます。でも、こんなに大勢の人々では、それが何になるでしょう。」



ごく一般的な携帯食

57

本編 草の上に マタイ14:18~19a

するとイエスは「それを、ここに持って来なさい」と言われた。

そして、群衆に草の上に座るように*命じられた。

*草がたくさんあった(ヨハネ6:10)

雨季(10月~3月頃) ➡近づく受難!!

「人々は、百人ずつ、あるいは五十人ずつまとまって座った。マルコ6:40」

➡やがて生まれる教会の姿を先取り



58

本編 配食 マタイ14:19b

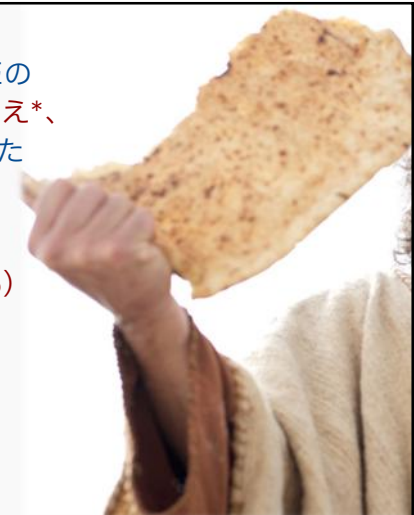
それからイエスは、五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて神をほめたたえ*、パンを裂いて弟子たちにお与えになったので、弟子たちは群衆に配った。

*過越の最後の晩餐でも(マタイ26:26)

■配られたのは、神の祝福を受けた、神の恵みの糧。

■5千人を満たすパンを生じさせた

➡メシアの業(=神の創造の業)



59

本編 十二のかご マタイ14:20～21

人々はみな、食べて満腹した。そして余ったパン切れを集めると、**十二のかご***がいっぱいになった。

食べた者は、女と子どもを除いて男五千人*ほどであった。

*イスラエル十二部族を象徴

➡イスラエルの民族的救い（神の国の完成）

*律法の契約の主体（責任者）は、男性（家長）。
…かつてイスラエルは、神と律法を結び、
天のパン（マナ）を与えられた。



60

本編 その先へ マタイ14:22

それからすぐに、イエスは弟子たちを舟に乗り込ませて*、自分より先に向こう岸*に向かわせ、その間に群衆を解散させられた*。

*群衆はイエスを王に担ぎ上げようと…

*ゲネサレ（マタイ14:34）

ベトサイダ（マルコ6:45）

*王に担ぎ上げられそうに（ヨハネ6:15）

■アンティパスの領土を離れ、ピリポの領地
ピツロ、シドンを巡っていくメシア。



61

二つの天のパン

① 律法を結び、神の民となったイスラエルは、
荒野で、**天のパン（マナ）**によって養われた。

② メシアの弟子たちとイスラエルの群衆は、
メシアの与えるパンによって満たされた。

メシアは、イスラエルを養われる主である



Ⅱ. まとめと適用 「あなたがたが、あげなさい」

62

63

余った12のパンの意味

- メシアのパンは、集った群衆を満たし、
なお、「12のかご」をいっぱい満たした。
- 「12のかご」が示すのは、イスラエル12部族。
→全イスラエルが、メシアの霊の糧に満たされる
(イスラエルの民族的回心と救い)

メシアが、イスラエルを神の民として回復される

64

五千人の供食が示す、教会時代

- メシアのもとに集う者たちが、
メシアに与えられる霊の糧に満たされ、育まれて行く。
→教会時代における教会の姿
- メシアを求めるすべての者は、霊の糧に満たされる。
メシアが与える恵みは、絶えることがない。

教会は、メシアの与える霊の糧によって養われている!!

65

弟子たちに託された使命

- 偉大な預言者にしてメシアの先駆者ヨハネの無残な死。
- 必死にすぎりついてきた群衆を、主イエスは憐れまれた。
- 弟子たちへの命令…**「あなたがたが、あげなさい」**
→持てるものすべて(魚とパン)を出させた
→弟子たちの手で配らせた。

御言葉の糧、福音を人々に配るのは、私たちの使命

66

パンは、どこで、どうやって増えたのか？

- 主イエスは、祈り、パンを割いて配られた。
パンは、どの段階で増えていったのか？ →不明
- 確かなのは、すべての人が満たされ、有り余ったこと。
- 遣わされるただ中で、私たちの必要は満たされていく。
振り返った時に、すべて満たされていたと気付かされる。

救われるべきすべての人は救われる。信頼をもって遣わされよう

67

主イエスの憐れみに、私の心を重ねよう

- 追いすがる群衆を、
主イエスは、痛みをもって、“深く憐れまれた”
- 主の弟子である私たちに求められるのは、
世で見捨てられた人々への痛みをもつての共感。
例) 障害を持った人々、過疎地の人々…
➡ 各々が遣わされた場で、人々の痛みに関心しよう

主の憐れみと愛をもって、世の人々のもとに遣わされよう

68

★ あなたがたが、あげなさい ★

- 主イエスの目は、迫る十字架の受難を見据えていた。
同時に、来る教会時代への備えを進められていった。
- 「あなたがたが、あげなさい」 主の命令に従おう。
最高の霊的糧、最大の恵みが、主イエスの福音だ。

教会時代の最大の使命に、福音を掲げ、遣わされていこう

69

てん どう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。
わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、
わたし つみ あがな じゅうじか し
① 私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
はか ほうむ
② 墓に葬られ、
みつかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活されたこと、を信じます。
しゅ わたし あわ すく みちび
主イエスが、私たちを憐れまれ、救いに導いてくださいました。
「あなたがたが、あげなさい」 主イエスが呼びかけられています。
わたし つ しゅ めぐ あた
私たちには、尽きることのない、主の恵みが与えられています。
すく ふくいん わたし つか
この救いの福音をもって、私たちを遣わしてください。
かんしゃ しゅ な いの
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」

70

